

仕様書

フロンティア部

1. 件名

ASEAN における中小企業への省エネルギー関連技術導入ポテンシャルに関する調査

2. 目的

ASEAN 諸国では、現地企業におけるエネルギーの有効活用・省エネルギー化が高まる中、省エネルギー関連技術を有する日本国内の中堅・中小・ベンチャー企業の進出が十分に見込まれると考えられる。一方で、これらの ASEAN 諸国の市場に進出するためには、現地ニーズに対応した技術の選定・導入が必要である。

NEDO は、省エネルギー分野における日本の中堅・中小・ベンチャー企業の海外進出の可能性を探索するために、令和4年度には「タイにおける中小企業への省エネルギー政策・動向調査」、令和5年度には「ASEAN における中小企業への省エネ技術導入ポテンシャルに関する調査」を実施した。これらの事業を通じて、タイ市場における省エネルギー関連技術導入への関心を確認すると共に、日本国内の中堅・中小・ベンチャー企業の持つ高い省エネ効果と海外展開可能性の高い技術分野をある程度把握した。

本事業では、これまでの調査結果を活かしながら、タイにおいて省エネルギー化が重視されている分野を中心に、より具体的な省エネルギー関連技術のニーズを深堀する。更にタイにおける省エネ技術のニーズを踏まえて、関連技術を有する日本の中堅・中小・ベンチャー企業の海外進出の可能性を調査する。また、省エネルギー関連技術分野において、日本の中堅・中小・ベンチャー企業とタイの現地企業をマッチングすることで、省エネルギー関連技術導入に関する国際実証への展開及び BtoB 連携の活発化に繋ぎ、日本の中堅・中小・ベンチャー企業のグローバル展開を促進することを目指す。

3. 内容

① タイにおける現地企業への省エネルギー関連技術導入ポテンシャル・BtoB連携ポテンシャルの調査

令和4年度に実施した「タイにおける中小企業への省エネルギー政策・動向調査」の結果を踏まえながら、現地でエネルギー効率を改善する余地の高い分野を中心に省エネルギー関連技術導入ポテンシャルを調査する。

具体的には、エネルギー使用状況及び省エネルギー化の概況等を調査する共に、省エネルギー化において現地政府・企業が抱えている課題・ニーズを把握する。また、これらのニーズに応えるために必要となる省エネルギー関連技術を抽出の上、関連技術の導入に向けてタイ企業による日本企業とのBtoB連携のニーズや

可能性を調査する。

② 日本の地方自治体、中堅・中小・ベンチャー企業ヒアリング

過去に「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」に参画した企業や、各都道府県における中小企業支援センター等地方自治体と連携している組織、およびその他有望な省エネルギー関連技術を有する日本の中堅・中小・ベンチャー企業にヒアリングし、国際実証およびBtoB連携によってタイに展開可能性のある企業候補を選定する。

企業の選定にあたっては、上記①で特定した現地ニーズに対応可能な技術だけでなく将来的に求められる可能性のある技術も視野に入れて幅広く検討すると共に、NEDO事業への展開に際して十分な企業体力を有しているか確認する。

③ 日泰マッチングセミナーの開催

上記①及び②の調査結果を踏まえ、省エネルギー関連技術導入に関心のあるタイ企業と、有望な省エネルギー関連技術を有する日本の中堅・中小・ベンチャー企業をマッチングするためのセミナーを開催する。セミナーは、半日程度で現地における対面及びオンラインとのハイブリッド形式とする。なお、セミナー開催に必要な経費は本事業に含めることとする。

また、マッチングセミナー終了後、参加者へのフォローアップや、日泰企業によるBtoB連携の可能性を向上させるための提言を行う。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2025 年 3 月 31 日まで

5. 報告書

提出期限：2025 年 3 月 31 日

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に成果報告会における報告を依頼することがある。